

報道関係者各位

チョコレボ実行委員会

**日本初** **全国フェアトレード認知率調査 速報！ フェアトレードの認知率17.6%！**  
**フェアトレードに強い関心を持つ人は27.7%**  
 日本初の全国でのフェアトレード認知・受容性調査から見えてきたフェアトレード  
 ～認知者・興味関心者の姿とは？～

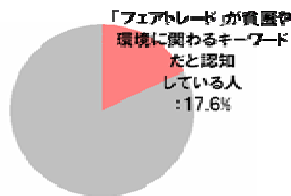
フェアトレードやオーガニックなど「人と地球にやさしいチョコレート」を広めるためのキャンペーン「チョコレボ」(Choco-Rev!!)を推進するチョコレボ実行委員会(代表:星野智子)は、フェアトレード業界をリードする協賛企業・団体からの協力を得て、2008年11月、日本初となる全国規模でのフェアトレード認知率調査を実施いたしました。

本調査は、全国の20歳～59歳の男女を対象に「フェアトレード」をはじめとする環境・社会テーマのトピックスの認知率を聴取したほか、フェアトレード認知者の特徴を明らかにすべく、対象者の家族構成や年収、学歴から性格、趣味、情報接触行動の実態や消費意識など、幅広い項目について聴取しています。

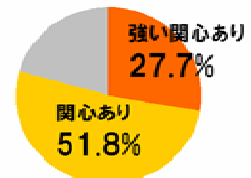
この速報は、12月11日(木)～13日(土)に東京ビッグサイトにて開催される、国内最大級の環境展示会「エコプロダクツ2008」にて日本経済新聞社様のご協力により発信する企画展示ブース「チョコレボ@エコプロ」ブースにて同資料を配布いたします。

**調査結果速報**

**フェアトレード認知率**  
**17.6%**



**フェアトレードに強い関心を持つ人**  
**27.7%**



**調査概要**

調査地域 : 全国  
 調査対象者: 20～59歳の男女 1040 サンプル  
 (総務省統計局人口推計データをもとに性年代・居住地域別の人口に応じてサンプルを回収)  
 調査方法 : インターネットアンケート調査(実査機関:株式会社マクロミル)  
 調査時期 : 2008年11月  
 調査の特徴  
 フェアトレード認知率、関心度を聴取するだけでなく、認知者・関心者がどのような性格、価値観を持ち、どのような情報接触行動、消費行動をとるようなタイプの人なのか、その特徴を浮き彫りにするような調査設計となっています。詳細な報告書は2009年2月以降に発売を予定しています。  
 協賛企業 デイモン・ワールドワイド・ジャパン・インク、特定非営利活動法人フェアトレード・ラベル・ジャパン、フェアトレードカンパニー株式会社

**調査結果トピックス**

- ・ フェアトレードの認知率は17.6%。  
 「フェアトレード」という言葉を認知し、かつ貧困や環境に関するキーワードだと認識している人は17.6%存在していました。
- ・ フェアトレードに強い関心を示した人は27.7%。  
 本調査では「フェアトレード」に関する3つの説明文を対象者に読んでもらい、それぞれについて関心度を聴取しています。3つの説明文を読んで、いずれかの説明文に興味や魅力を「とても感じた」と回答した人は27.7%でした。
- ・ フェアトレードの認知者、関心者はともに女性が多いのが特徴です。

## 調査報告書の販売について

本調査に関する詳細な調査報告書を2009年2月頃に発売予定です。調査報告書の作成は大手広告会社のマーケティングプランナーとFTSN(フェアトレード学生ネットワーク)の学生などがボランティアで担当いたします。フェアトレード認知者、関心者、及び実際に商品を購入したことのある方の特徴を詳細に分析し、A4 40ページ程度に取りまとめます。

\* 調査報告書の売上は調査原価の回収、および来年度以降の調査費として積み立てさせていただく予定です。

### エコプロダクツ展とは

エコプロダクツの普及と環境型社会の実現をめざし、1999年を初回に開催され、今年で10回目を迎えます。企業に留まらず政府・自治体、NPO・NGO、教育機関など様々なステークホルダーが本展を通じて「つながり」、問題解決の新しい取り組みと実例を紹介することで、社会ムーブメントを生み出す機会として活用されています。

エコプロダクツ2008の公式Webサイト<http://eco-pro.com>より抜粋

#### 【開催概要】

名称：エコプロダクツ2008〔第10回〕  
会期：12/11(木)～13(土) 10:00～18:00 (13(土)は10:00～17:00)  
会場：東京ビッグサイト(東展示場1～6ホール) 「チョコレボ@エコプロ」ブース：東6ホール 小間No.6909  
主催：産業環境管理協会、日本経済新聞社

### フェアトレードとは

生産者組合のよりよい運営や、有機や伝統的農法などの環境にやさしい生産方法に取り組む途上国生産者に対し、適正な価格での長期的取引を保障し、生産者の経済的・社会的自立や環境保全を支援する活動。国際的なフェアトレード団体が、ILOに準拠した児童労働の制限や環境保全等の規格を設け、世界的に取り組んでいます。

### チョコレボ(Choco-Revo!!)とは

カカオ農園での児童労働や周辺での森林伐採という、チョコレートの裏にあるビターな現実に対し、フェアトレードやオーガニックなどの「人と地球にやさしいチョコレート」の一般認知度を高め、プロモーションを行うことを目的とするキャンペーンです。

カカオの代表的産地である西アフリカ諸国では、約28万人もの子どもがカカオ農園で危険な労働に従事しているとされています。カカオ農園で働く子どもたちの中には、長時間にわたる労働のため、学校に行く機会を失っている子どもや、更に貧しい国々から労働力として連れて来られた子どもたちのケースが報告されています。

データはILO(国際労働機関)ウェブサイトより

### チョコレボ実行委員会とは

チョコレボ実行委員会は、フェアトレードやオーガニックなどの「人と地球にやさしいチョコレート」を広めたい、という想いを共有する有志で構成された非営利の団体として、2006年11月より本格始動しました。

キャンペーン「チョコレボ」の推進実行委員会として、「人と地球にやさしいチョコレート」に関する情報をオフィシャルサイトやイベントを通じて発信するほか、日本初となったフェアトレード・マーケティング調査(2007年7月)、様々な企業や団体、アーティストとのコラボレーション企画など、新しい取り組みを実施しています。

「人と地球にやさしいチョコレート」の商品を広め、そうした商品を選ぶことが世界により変化をもたらすという理解を一般生活者に伝え、また、企業や団体の販売活動及び新規導入を促進することを目的としています。

### お問い合わせ

【調査について】	チョコレボ実行委員会マーケティングサーチチーム	Email: <a href="mailto:ftmr@choco-revo.net">ftmr@choco-revo.net</a>
【取材窓口】	チョコレボ実行委員会 広報担当: 大谷ノ小笠	Email: <a href="mailto:press@choco-revo.net">press@choco-revo.net</a>
	URL: <a href="http://www.choco-revo.net">http://www.choco-revo.net</a>	TEL: 03-6912-5778(星野)

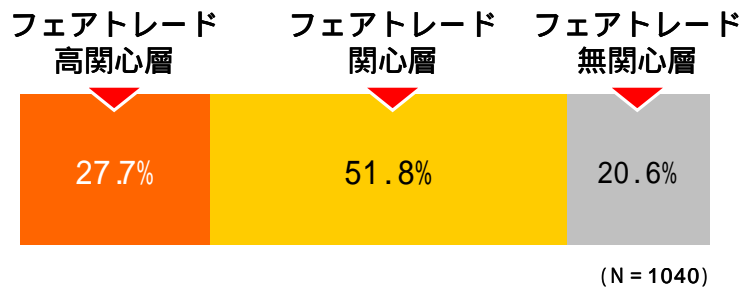
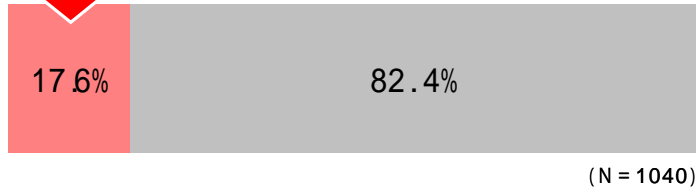
### <データの転載について>

データご利用の際は、出展元を「チョコレボ実行委員会マーケティングサーチチーム」としてご明記くださるようお願い致します。

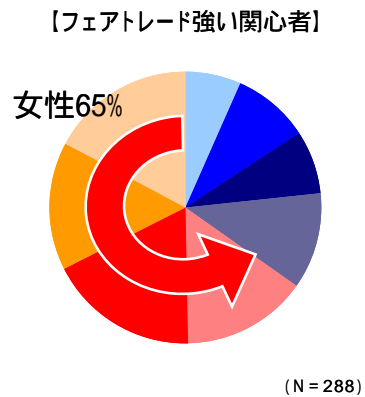
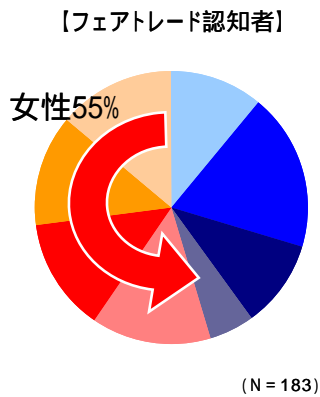
< 添付資料(調査データ) >

フェアトレードの認知率は 17.6%。強い興味関心を持つ人は 27.7%。

**フェアトレード認知者** : 「フェアトレード」という言葉を知っていて、かつ  
貧困や環境に関するキーワードだと認識している人



フェアトレード認知者の 55%、フェアトレードに強い関心を持つ人の 65%が女性。



以上。